

目 次

序 文

I 調査の概要	1
1. 調査の主旨および特色	1
2. 方 法	2
II 結果および考察	4
1. 回収率および有効回答の内訳	4
2. 指導対象児童（生徒）数	6
3. 障害種別にみた指導の実際	15
(1) 難聴	15
(2) 構音障害	19
(3) 口蓋裂	21
(4) 吃 音	23
(5) 言語発達の遅れ	25
(6) その他	31
4. 通級による指導の実態	34
(1) 形態面について	34
(2) 長所と考えられていること	36
(3) 通常学級との連携による指導	36
5. 幼児指導の実態	38
6. 親との連携の実態	40
7. 担任と勤務の実態	43
(1) 担任教	43
(2) 研 修	43
(3) 勤 务	46
資料：「平成3年度全国難聴・言語障害学級実態調査」調査用紙	49